



▶「チヨースヤ」のかけ声、勇ましく

平成14年に市の重要無形民俗文化財に指定された神島の「天神祭」が、9月19日に行われました。

最初の見どころは、「御渡り」。

大きな3隻の船によって海から現れる千歳楽に、見物に訪れた人たちも大興奮。その後、担ぎ手が千歳楽を「チヨースヤ」のかけ声とともに神島自在天神の境内まで運び込みました。そして、クライマックスは「総担ぎ」。海路と陸路から13基の千歳楽が勢ぞろいすると、その千歳楽を回しながら境内を練り歩きます。「チヨースヤ」の勇ましい声がより一層響き渡り、会場は熱気に包まれました。



◀アイデア作品がズラリ

9月10日から12日にかけて、市民会館で生徒児童の発明くふう展が開催されました。

会場に並べられたのは、小学3年生から中学3年生までが夏休み期間中に創作した43点。ペットボトルのラベルに同じ素材の取っ手をつけて簡単にはがせる「ワンタッチでリサイクル」などのアイデア作品が展示され、訪れた人たちも手に取りながら感心していました。金賞受賞作品3点は県展に出品されます。



▶新しい芸術の可能性を…

障害のある人に表現活動を通して表現の楽しさを感じてもらおうと8月29日、「かさおか夢アート2004」が貫読講堂で開催されました。

ボランティアを含む参加者70人は、和紙に絵の具で鮮やかな色を塗り、その上に思い思いの文字を描いていきました。最後にそれぞれの名前の入ったゴム印を押して完成。新しい芸術の可能性を感じさせる作品が仕上がりました。



◀100歳おめでとう

9月22日、県と市は満100歳を迎えられた小寺喜代恵さん（金浦）を訪問し、お祝いに羽毛布団と吉備焼のつぼを贈りました。また、9月15日からの「老人週間」にちなんで内閣総理大臣から銀杯も贈られました。

この日は、今年生まれたばかりの初ひ孫も東京からお祝いに来ており、小寺さんは、うれしそうな笑顔を浮かべ抱きあげていました。

小寺さん、いつまでもお元気でいてください。

